

平成 26 年 7 月 18 日

J R 東日本 長野支社

飯山線に 新しいコンセプトの列車が誕生します。

千曲川の遠方に連なる山々とのどかな里山、田園・畑が民家を囲む“ふるさとの情景”が車窓を流れる飯山線。新幹線の金沢延伸に伴い、“日本のこころのふる里”に相応しい多様な観光資源をそなえる飯山線沿線を楽しんでいただけるように、日本人が共有している“ふる里”のイメージを具現化した新しいコンセプトの列車が走ります。

1 新しいコンセプトの列車の仕様と運行について

- 対象車両 キハ110系（2編成）車両の改造
- 車両名称 未定
- 座席 2両編成／約76名（予定）
- 運行開始時期 平成26年12月下旬以降、定期列車として順次導入されます。平成27年春からは2両編成で沿線風景を楽しんでいただける列車の運行を予定しております。
- 運行区間 飯山線 長野駅～十日町駅間（予定）
- 運転日 通常は定期列車で使用します。2両編成での運転については土・休日を中心に1日1往復予定しております。今後同列車で「おもてなし」を満喫できるよう計画していきます。



【飯山線を走る普通列車（イメージ）】

2 デザインについて

(1) 外観

唱歌「ふるさと」に登場する「兎」などをアイコン化し、五線譜をイメージした格子線と組み合わせた外観デザインを予定しております。



(2) 内装

子供のころ、夏休みに遊びに行っていた田舎のおばあちゃんの家のような、懐かしさ、楽しさを感じさせる「古民家」風のこころ落ち着く内装デザインを予定しております。



※列車デザインについては、現在検討中のイメージであり、実際のものとは異なる場合がございます。

○おもてなし

地元の方々との触れ合いや食との出会いを通じて、飯山線を満喫していただき、「また帰ってきたい」と感じていただけるような、おもてなしを検討していきます。

東日本旅客鉄道株式会社 長野支社 運輸部	
販売促進課	026-224-5310 (平日 9:00~17:00)
車両課	026-224-5314 (平日 9:00~17:00)